

福井市総合計画 2022.4-2027.3

### 第八次福井市総合計画の策定にあたって

本市は、昭和43年の福井市行政計画(第一次)以降、市政運営の基本となる総合計画を策定し、市 政発展のため取組を進めてきました。

この間、本市を取り巻く環境は大きく変化してきました。人口減少社会のさらなる進行や、大雪など 自然災害の発生、さらには、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に、先が見通せない社 会情勢のなか、私たちの暮らしはこれまで以上に不安定なものになりつつあります。

第八次福井市総合計画においては、第七次福井市総合計画に掲げた将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を継承しつつ、北陸新幹線福井開業やアフターコロナへの対応など、社会情勢や本市を取り巻く環境の変化を的確にとらえて、輝く未来の福井をしっかりと形作っていかなければなりません。

コロナ禍を明るい未来に向けた変革のチャンスと捉え、持続可能な開発目標であるSDGsの視点をふまえながら、みんなの笑顔があふれる、豊かなまちづくりをしっかりと進めるため、第八次福井市総合計画を策定するものです。

# 2

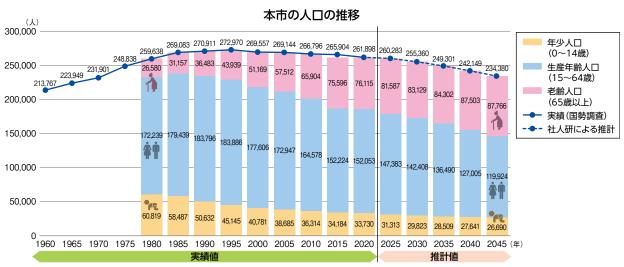
### 福井市の現状

### (1)人口推移の状況

### ○全国的に人口減少が進むなか、本市も人口減少の傾向が続く

本市の人口は、平成7年(1995年)の約27万3千人をピークに減少に転じており、令和27年(2045年)には、令和2年(2020年)より、約2万7千人(約1割)減少する見通しとなっています。

特に年少人口や生産年齢人口の減少が進むことから、年齢構成のバランスが大きく偏り、労働力の減少に伴う経済活動の停滞や、担い手不足による地域活力の低下、市税収入の減少や社会保障費の増大など、経済、生活、財政等のさまざまな場面での影響が懸念されます。



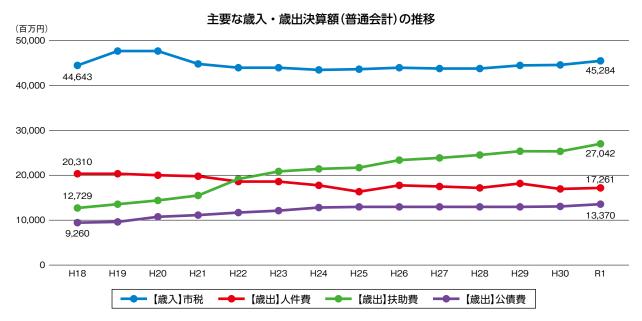
※実績値は、国勢調査(~2015)及び福井市人口統計(2020)※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)|

### (2)財政の状況

### ○人口減少の進展等により、財政状況が厳しくなるおそれ

歳入面では、人口減少の進展等に伴い、市税収入などの伸びが期待しにくい状況となっています。また歳出面では、扶助費など社会保障に要する経費が大幅に増加しています。

今後も引き続き、限られた財源と人材とを効果的に活用することで、収支均衡した持続可能な財政運営を継続していく必要があります。



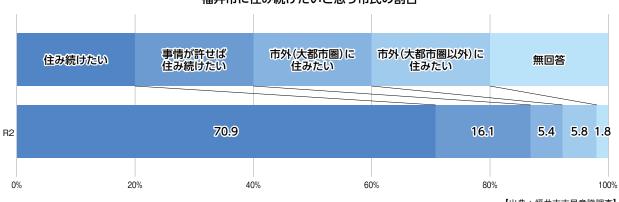
【出典:市町村決算カード】

### (3)市民意識調査の結果

### ○「福井市に住み続けたい」と考える市民が約9割

令和2年(2020年)に実施した市民意識調査では、全体の87.0%が「福井市に住み続けたい」と回答しています。

今後も、子育て・教育環境などに代表される本市の住みよさの向上に努め、「住んでみたい・住み続けたい」と感じることができるまちづくりを進める必要があります。



### 福井市に住み続けたいと思う市民の割合

# 3

### 本市を取り巻く環境の変化

### (1)北陸新幹線福井開業、中部縦貫自動車道の県内開通後における環境変化への対応

令和5年度(2023年度)末には北陸新幹線福井開業が、また令和8年(2026年)には中部縦貫自動車道の県内区間全線開通が予定されています。北陸新幹線福井開業により、本市と、首都圏をはじめとする新幹線沿線地域との移動時間が大幅に短縮されます。

100年に1度といわれるこのチャンスを最大限に活かして、観光誘客や販路開拓・拡大、関係人口の 創出など、様々な取組にチャレンジしていく必要があります。

### (2)中核市、連携中枢都市圏の中心都市としての役割

本市は、平成31年(2019年)4月に中核市へ移行し、保健衛生などの新たな権限を活かして、より幅広く、きめ細かなサービスの提供を行うことで、市民に最も近い基礎自治体としての機能を高めてきました。

また、本市は、中核市への移行と合わせ、県北部の10市町と「ふくい嶺北連携中枢都市圏」を形成し、 経済成長の牽引や都市機能の強化、生活関連機能サービスの向上など、圏域全体の持続的な発展のため に、先頭に立って取り組んでいます。

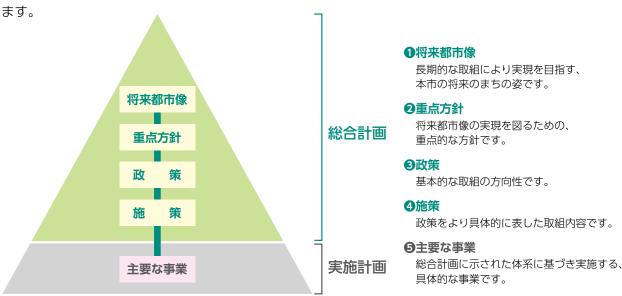


### 総合計画の構成と期間

### 【構成】

本計画は、「将来都市像」「重点方針」「政策」「施策」の階層で構成します。

また、総合計画に定める将来都市像を実現するための具体的な事業計画として、実施計画を別途策定します。



### 【期間】

令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)の5年間とします。

## 将来都市像及び重点方針

第七次福井市総合計画では、10年、20年先を見据えて長期的に取り組む本市の姿として、「みんなが 輝く 全国に誇れる ふくい」を将来都市像として掲げました。

この将来都市像の実現のために、本市では「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催や、 中核市への移行及び連携中枢都市圏の形成、また北陸新幹線福井開業に向けた準備など、各種事業を推進 してきたところです。

第八次福井市総合計画の計画期間においては、いよいよ北陸新幹線が県内開業します。本市では、これ まで進めてきた開業準備の総仕上げと、開業効果を最大限に引き出すための取組を、引き続き着実に推進 していく必要があります。

将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現に向けた取組は、まだ道半ばであり、これ までの歩みを緩めることなく、さらなる高みを目指して取り組んでいく必要があります。

そのため、第八次福井市総合計画においても、現在の将来都市像や重点方針を引き継ぎ、明るい未来に 向けた、豊かで持続可能な、活力あふれるまちづくりを進めていきます。

将来都市像

みんなが輝く 全国に誇れる ふくい

重点方針

◆豊かな地域づくり ◆輝く未来への挑戦



### 総合計画とSDGsの関係

本市においては、SDGs(持続可能な開発目標)に掲げられた17の目標と、本市の市政運営において 目指すべき大きな方向性は同じであると捉えています。

そのため、第八次福井市総合計画をSDGsの推進計画としても位置付け、SDGsと政策・施策との関係 を見える化して取組を進めることで、本市の将来にわたる持続可能な発展につなげていきます。







将来 都市像 重点

方針

社会基盤分野

快適に暮らすまち

짠

策

公共交通に 関する政策

1

公共交通を利用して様々な人が便 利に行き来できる快適なまちをつ くる

中心市街地に 2 関する政策

まちなかの充実した都市機能によ り、にぎわいと交流のあふれる心 弾むまちをつくる

生活インフラ 3 に関する政策 持続可能で強靱な社会基盤と安全 で快適な生活環境が整ったまちを つくる

地域活性化に 4 関する政策

地域の魅力を発信して人の流れを 呼び込み、持続可能で活気あふれ るまちをつくる

共生、協働に 関する政策

誰もが尊重され、それぞれの個性 や能力を発揮しながら、活躍でき

るまちをつくる

市民福祉分野



福祉に関する 政策

政策

市民の健康を守り、誰もが夢や生 きがいを持って安心して暮らせる まちをつくる

環境に関する

環境にやさしい持続可能なまちを つくる

防災、安全安心 に関する政策

市民・事業者・他自治体等と連携し て災害・事故に強い安全・安心なま ちをつくる

産業分野



12

農林水産業に

未来を切り拓く農林水産業のまち をつくる

活き活きと働くまち

商工業に 10 関する政策 新たなチャレンジを後押しし、活力 と魅力あふれる商工業が発展しつ づけるまちをつくる

観光に関する 11 政策

> 文化、歴史、 自然に関する

関する政策

福井の魅力「福いいネ!」を実感で きる、おもてなしの心があふれる観 光のまちをつくる

文化や歴史、自然を、郷土の誇りと

して未来につなぎ、個性豊かな魅

教育分野



学校教育に 13

政策

力あるまちをつくる 健やかで自立心をもって未来を切り

学び成長するまち

生涯学習、 生涯スポーツに 関する政策 14

拓く子どもを育むまちをつくる

ツに親しめるまちをつくる

市民が生涯にわたり、学習やスポー

総合計画を 推進するために

未来につなげる持続可能な行政を運営する

み

挑 戦

151

# 実施計画

### 施 策

- 1 北陸新幹線の早期全線開業を目指す
- 2 公共交通の利用を促進する
- 3 ICTを活用して公共交通の利便性を高める
- 4 地域拠点の機能充実を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る
- 県都にふわさしい魅力あるまちをつくる
- ② にぎわいの創出のための仕掛け、仕組みをつくる
- ⑤ うるおいと個性あるまちをつくる
- ① 強靭な社会基盤を構築する
- 2 安全で快適な生活環境を保全する
- 3 安全で安心な上下水道のサービスを提供する
- 福井とつながる人口の対流を創出する
- ② ライフステージに応じた人材還流を促進する
- む域の資源を活かし、安心して住み続けられる住環境をつくる
- ❹ 地域の活性化や地域コミュニティの維持に取り組む
- 誰もが活躍できる社会の実現を図る
- ② 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る
- ⑤ 多文化共生のまちづくりと国際交流を推進する
- ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める
- 生活習慣病予防に取り組むなど生涯にわたる健康づくりを支援する
- ② 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境をつくる
- 心障がいや難病等を抱える人が地域で安心して生活できるよう支援する
- 複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める体制をつくる
- ③ 公衆衛生の向上や健康管理の強化に取り組む
- 環境負荷低減の取組を推進する
- ② 環境対策に積極的に取り組む企業を支援育成し、公害や不法投棄のない快適な生活環境を守る
- 📵 自然や都市環境を守り育て、未来に伝える
- 🕢 市民、市民組織、事業者、行政が共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進める
- 地域の防災力を高める
- ② 火災等から人命と財産を守る
- 🕙 地域における防犯力を向上する
- 4 安全安心な消費生活を支える
- ⑤ 交通安全対策を推進する
- スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
- グランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
- € 稼げる林業と水産業を推進する
- 4 農地・農村の環境を守り活性化を図る
- 地域の商工業を振興する
- 🕗 創業や事業承継を促進する
- 砂地元で働く魅力を発信する
- 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する
- 観光資源を磨き上げる
- 2 誘客プロモーションを強化する
- € おもてなしの充実を図る
- **① 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する**
- ② 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する
- 自然科学教育で創造性豊かな子どもを育む
- 引 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する
- ② 子どもの健康増進を図る
- ❸ 子どもの安全を守り、健全な育成を図る
- ❹ 学びの場としての学校環境を整備する
- 市民の生涯学習を支援する
- 市民の生涯スポーツを支援する
- 時代の変化に対応できる組織体制の構築
- ② 市民サービスのさらなる向上
- ❸ SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営



